

# イラン、極超音速ミサイル Fattah-1 で イスラエルへの航空優勢を示す

テレスル

2025 年 6 月 18 日

今夜のミサイル攻撃は、われわれが占領地の上空を完全に掌握していることを示すものであり、その住民はイランのミサイル攻撃に対してまったく無防備である、と革命防衛隊は宣言している。

イランのイスラム革命防衛隊 (IRGC) は、精密兵器の技術革命とされる極超音速ミサイル「ファッター1」を使用した「真の約束 III」作戦の第 2 波を実行した後、イスラエル領内の航空優勢を確立したと主張した。

IRGC の公式声明第 10 号は、この攻撃を「シオニスト軍の神話的な対空防衛の終わりの始まり」と表現し、発射されたミサイルはイスラエルの対ミサイルシステムを貫通し、「被占領地」の戦略的目標を攻撃することに成功したと指摘している。

2023 年に正式に発表された「ファタ-1」ミサイルは、従来の迎撃システムを無視する能力を持つイランの新世代の軍事兵器である。1,400 キロメートルの射程距離と 450 キログラムまでのペイロードを搭載する能力を持つこのハイパーソニック・ミサイルは、実際の戦闘状況においてその有効性が証明されている。

Fattah-1 の技術的特徴には、高い操縦性と音速の 5 倍を超える速度が含まれ、イスラエルのアイアンドームのような従来の防衛システムによる迎撃努力を著しく複雑にしている。

## テルアビブで確認された衝撃

地元の救急隊は、イスラエル領内に複数の着弾地点があることを報告し、ソーシャルメディアではテルアビブ首都圏にイランの砲弾が落下する様子を撮影した。

検証された音声とビデオ映像は、**少なくとも 1 発のイランの極超音速ミサイル Fattah-1 が、イスラエルの複数の対ミサイルシステムによる迎撃の試みにもかかわらず、指定された標的に命中したことを確認し、この新技術に対する防空網の限界を浮き彫りにした。**

革命防衛隊は、テルアビブの南西に位置し、人口密度と経済的重要性から戦略的地域とされるネヴェ・ツェデク地域を標的とした攻撃について、具体的な警告を発した。

## 地域パワーのメッセージ

IRGC の公式コミュニケは、今回の空爆を「イランの力のメッセージ」と表現しており、イスラエルと「その温情主義的同盟国」の両方に向けられている。**イランの軍事組織は、能力を示し、敵の防御を突破したという点で、この作戦は成功した**としている。

公式声明で使用された用語によれば、「強力で高度に操縦可能なファタ・ミサイル」は、「ミサイル・シールドを貫通」し、「臆病なシオニストの庇護を何度も何度も揺さぶった」道具であると説明された。

革命防衛隊は、この作戦を実行した「航空宇宙軍の自己犠牲的な指揮官と戦闘員」を公に祝福し、「誇りを鼓舞する」と表現し、イスラエル軍を「混乱と自滅に陥れた」と指摘した。

この軍事的発展は、イランの兵器庫がますます洗練され、国境を越えて軍事力を投射する能力が高まっていることを強調するものであり、地域紛争に新たなパラメーターを設定するものである。

## イスラエルへの「真の約束 III」ミサイル攻撃を開始

teleSUR

June 16, 2025

イランが反撃。「真の約束 III」作戦で 150 以上のイスラエル軍事拠点が攻撃され、紛争が大きくエスカレートした。



イランは、最近のイスラエルによる自国領土への空爆に対する報復として、「真の約束 III」作戦と名付けられた大規模なミサイルとドローンによる攻撃を開始した。この空爆は、テルアビブ、ラマット・ガン、アル・ムルジ、ティベリアなど、パレスチナ占領地全域のイスラエル軍施設数十カ所を標的とした。

イスラム革命防衛隊（IRGC）は公式声明の中で、この攻撃はイスラエルの侵略行為に対する「正確かつ粉砕的な対応」だと述べた。この作戦は、イランの最高指導者の指導の下、国民の強い支持を受けて実施され、近年この地域で最も大規模な報復作戦のひとつとなった。

イランの軍事情報筋によれば、数機のアラシュ自爆ドローンがイスラエル支配地域の奥深くで指定された標的に命中したという。また、イランは今回初めて、攻撃の一環として潜水艦から極超音速ミサイルを発射したと伝えられている。

イスラエル軍は攻撃を確認した。全国的な空襲サイレンを作動させ、住民に防空壕の中や近くにとどまるよう促した。マイク・ハッカビー駐イスラエル米国大使は、全国で緊急手順が施行された状況を「緊迫した困難な夜」と表現した。地元メディアは、テルアビブ南部の戦略施設にミサイルが直撃したと報じた。当局は、影響を受けたいくつかの地域への報道陣の立ち入りを制限している。さらに、占領地全域の複数のゾーンで広範な停電が確認されている。

イスラム革命防衛隊は、この作戦には高精度のスマート兵器システムが使用されたと述べ、150以上のイスラエル軍の目標が命中したと主張した。イランの防空部隊はまた、イスラエルのF-35戦闘機2機を撃墜したと報告したが、独立オブザーバーや国際軍事情報源による検証はまだ行われていない。

エルサレムではサイレンが鳴り響き、占領地南部のいたるところで爆発音が聞こえた。ハイファが次の標的となる可能性があるとの報道もある。一方、何千人ものイラン人が、国旗を振り、抵抗のスローガンを唱えながら、この作戦への支持を表明するため、国内の各都市で街頭に繰り出した。

この攻撃は、最高指導者ハメネイ師によるテレビ演説に続くもので、ハメネイ師は強力な対応を約束し、イスラエルはその軍事行動に対して「代償を払うことになる」と警告した。